

ヤマシャクヤク

Paeonia japonica (Makino) Miyabe et Takeda

ボタン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

現存する個体数が極めて少ない。生育地もごく限られている。(現況:R-)

形態

茎は直立する。葉は2回3出複葉で、裏面は白っぽい。茎の先に白色の1個の花をつける。花は上を向いて開き、香りがある。

国内分布

関東、中部地方以西、九州。

県内分布

県内全域。

生態など

高さ40cmほどになる中形多年草である。開花期は5月。地下茎は肥厚して太い。果実は袋果で、熟すと裂開し、内面が赤く、そこに不稔の種子と黒色の成熟した種子をつける。

生育環境

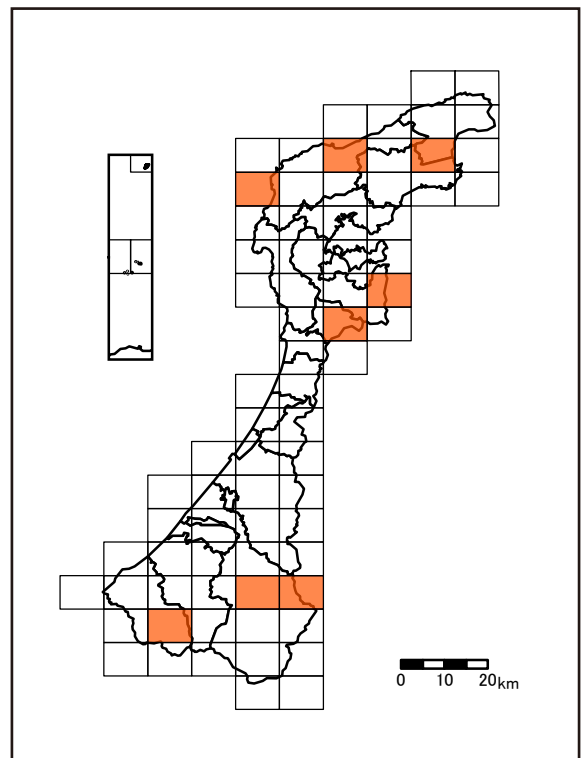
落葉広葉樹林等の林床に生育する。

危険要因

森林伐採、道路工事、園芸採取、自然遷移、産地局限、その他(自然崩壊)。



本多郁夫・2009年5月3日・白山麓・(果実) 白井伸和



県内の分布